

四半期報告書

(第54期第3四半期)

自 平成21年10月1日
至 平成21年12月31日

東和薬品株式会社

E00974

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) ライツプランの内容	7
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(5) 大株主の状況	7
(6) 議決権の状況	8

2 株価の推移

3 役員の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14

2 その他

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成22年2月10日
【四半期会計期間】	第54期第3四半期（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）
【会社名】	東和薬品株式会社
【英訳名】	TOWA PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉田 逸郎
【本店の所在の場所】	大阪府門真市新橋町2番11号
【電話番号】	06 (6900) 9100 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 藪下 啓二
【最寄りの連絡場所】	大阪府門真市新橋町2番11号
【電話番号】	06 (6900) 9100 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 藪下 啓二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第3四半期 連結累計期間	第54期 第3四半期 連結累計期間	第53期 第3四半期 連結会計期間	第54期 第3四半期 連結会計期間	第53期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高（千円）	26,670,406	29,298,763	9,530,321	10,230,071	35,966,812
経常利益（千円）	4,410,738	5,527,222	1,590,612	2,327,328	6,682,588
四半期（当期）純利益（千円）	2,541,110	3,350,509	873,334	1,440,055	3,777,129
純資産額（千円）	—	—	36,834,568	40,657,612	38,045,522
総資産額（千円）	—	—	45,472,504	55,204,921	48,238,579
1株当たり純資産額（円）	—	—	2,145.61	2,368.34	2,216.14
1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	148.02	195.17	50.87	83.88	220.02
潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益金額（円）	—	—	—	—	—
自己資本比率（%）	—	—	81.0	73.6	78.9
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	1,399,414	3,939,053	—	—	4,471,651
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△1,876,971	△7,904,534	—	—	△2,475,130
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△769,982	3,223,285	—	—	△772,566
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	—	953,494	2,694,837	3,425,386
従業員数（人）	—	—	1,248	1,334	1,237

（注）1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、連結子会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	1,334	(163)
---------	-------	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	1,255	(160)
---------	-------	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第3四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）における生産実績は、次のとおりであります。

薬効	金額（千円）	前年同四半期比（%）
神経系及びアレルギー用薬	1,595,962	120.6
循環器系及び呼吸器用薬	4,078,197	123.5
消化器官用薬	1,515,233	103.0
ホルモン剤	16,760	34.9
ビタミン剤	403,764	90.5
その他の代謝性医薬品	886,791	98.6
抗生物質及び化学療法剤	889,078	174.7
その他	711,588	143.6
計	10,097,378	118.9

(注) 1 事業の種類別セグメント情報を記載していないため、薬効別生産実績を記載しております。

2 上記金額は売価換算で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）における商品仕入実績は、次のとおりであります。

薬効	金額（千円）	前年同四半期比（%）
神経系及びアレルギー用薬	116,054	146.0
循環器系及び呼吸器用薬	96,480	98.3
消化器官用薬	25,494	88.2
ビタミン剤	12,254	74.0
抗生物質及び化学療法剤	106,693	409.6
漢方製剤	26,291	99.1
その他	147,099	205.3
計	530,369	152.7

(注) 1 事業の種類別セグメント情報を記載していないため、薬効別商品仕入実績を記載しております。

2 上記金額は実際仕入額で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社グループ（当社及び連結子会社）は、主として見込み生産を行っているため、記載を省略しております。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）における販売実績は、次のとおりであります。

薬効	金額（千円）	前年同四半期比（％）
（製 品）		
神経系及びアレルギー用薬	1,293,007	97.8
循環器系及び呼吸器用薬	3,955,304	112.2
消化器官用薬	1,762,877	122.7
ホルモン剤	36,545	98.5
ビタミン剤	463,688	105.5
その他の代謝性医薬品	835,060	90.9
抗生物質及び化学療法剤	620,167	99.7
その他	569,388	107.6
計	9,536,040	108.0
（商 品）		
神経系及びアレルギー用薬	149,969	120.6
循環器系及び呼吸器用薬	190,935	96.0
消化器官用薬	39,856	92.4
ビタミン剤	16,901	90.9
抗生物質及び化学療法剤	140,952	87.5
漢方製剤	32,082	94.9
その他	123,333	102.9
計	694,031	99.2
合計	10,230,071	107.3

(注) 1 事業の種類別セグメント情報を記載していないため、薬効別販売実績を記載しております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3 総販売実績に占める割合が10%以上の相手先がないため、相手先別販売実績の記載はしておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結会計期間の国内経済は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直しております。しかしながら、完全失業率が依然高い水準に止まっていることに加え、7～9月期の国内総生産（GDP）速報値で、国内の物価動向を示す国内需要デフレーターが△2.8%と、51年ぶりの低水準になるなど、デフレの様相が顕在化してきております。企業収益や雇用・賃金の悪化を通じて、景気が再び落ち込む「二番底」も懸念されています。

医療用医薬品業界では、今年度は薬価改定もなく、制度面での大きな環境変化はありませんでした。一方、平成22年4月の診療報酬改定議論の中で、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の導入や、薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の見直しによる後発医薬品のさらなる使用促進などが決まりました。新薬の適正な評価と後発医薬品の使用促進を同時に進めるといふ政府の方針が具体化され、医薬品業界も、新薬を継続的に開発できる企業と、高品質のジェネリック医薬品を安定的に供給できる企業しか勝ち残れない時代になろうとしています。

このような中、当社グループは、ジェネリック医薬品の需要拡大が見込まれる保険薬局、病院市場で取り引き軒数の拡大を目指した営業活動を展開しました。また、引き続き適正価格販売を維持し、血管拡張剤アムロジピンOD錠5mg「トーワ」をはじめとする主力品目の販売拡大に努めました。さらに、11月には、サルボグレラート塩酸塩錠100mg「トーワ」など、18成分30品目を新発売いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の当社グループの売上高は、10,230百万円（前年同期比7.3%増）となり、営業利益は2,212百万円（同18.5%増）となりました。一方、59百万円の有価証券評価益を計上したことなどにより、経常利益は2,327百万円（同46.3%増）となり、第3四半期純利益は1,440百万円（同64.9%増）となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、第2四半期連結会計期間末比1,813百万円減少（前年同期比1,741百万円の増加）し、2,694百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は870百万円の増加（同720百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益2,301百万円、および仕入債務の増加額1,054百万円等であり、主な減少要因は、法人税等の支払額1,296百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は2,300百万円の減少（同1,817百万円の減少）となりました。主な減少要因は、定期預金の預入による支出2,000百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は387百万円の減少（同3百万円の減少）となりました。主な減少要因は、配当金の支払額386百万円であります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は731百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、改修について重要な変更があったものは、次のとおりであります。

(改修)

前四半期連結会計期間末において計画しておりました当社岡山工場の製造設備の改修については、内容の見直し等により計画の一部を変更したため、完了予定年月を平成21年11月から平成22年9月に延期しております。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	49,000,000
計	49,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年2月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	17,172,000	17,172,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	17,172,000	17,172,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成21年10月1日～ 平成21年12月31日	—	17,172,000	—	4,717,700	—	7,870,735

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの受領がなく、当第3四半期会計期間において大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成21年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 4,700	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 17,162,900	171,629	—
単元未満株式	普通株式 4,400	—	—
発行済株式総数	17,172,000	—	—
総株主の議決権	—	171,629	—

②【自己株式等】

平成21年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
東和薬品株式会社	大阪府門真市新橋町2番11号	4,700	—	4,700	0.03
計	—	4,700	—	4,700	0.03

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（円）	4,180	4,420	5,070	4,950	4,950	4,660	4,760	4,610	4,440
最低（円）	3,730	3,740	4,150	4,460	4,620	4,350	4,220	3,650	4,170

（注） 最高・最低株価は東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	信頼性保証本部長	取締役	生産本部大阪工場長	野口 豪	平成21年10月1日

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,694,837	2,912,744
受取手形及び売掛金	※2 15,048,025	13,902,018
有価証券	—	512,641
商品及び製品	5,449,600	5,418,888
仕掛品	2,168,945	1,747,385
原材料及び貯蔵品	2,671,144	2,269,343
その他	1,305,242	1,687,815
貸倒引当金	△273,073	△40,446
流動資産合計	35,064,722	28,410,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 7,381,192	※1 7,612,949
機械装置及び運搬具（純額）	※1 2,028,968	※1 2,271,700
土地	6,600,957	5,689,542
建設仮勘定	742,248	355,698
その他（純額）	※1 411,662	※1 469,812
有形固定資産合計	17,165,029	16,399,704
無形固定資産	258,115	229,655
投資その他の資産		
投資有価証券	1,945,010	2,296,120
その他	788,834	930,035
貸倒引当金	△16,790	△27,330
投資その他の資産合計	2,717,054	3,198,826
固定資産合計	20,140,199	19,828,186
資産合計	55,204,921	48,238,579

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 5,204,805	4,330,534
未払法人税等	952,427	1,698,566
引当金	43,650	58,200
その他	3,281,576	3,155,580
流動負債合計	9,482,459	9,242,881
固定負債		
長期借入金	4,000,000	—
引当金	265,359	152,045
その他	799,491	798,130
固定負債合計	5,064,850	950,175
負債合計	14,547,309	10,193,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717,700	4,717,700
資本剰余金	7,870,735	7,870,735
利益剰余金	28,091,987	25,514,008
自己株式	△11,961	△9,646
株主資本合計	40,668,460	38,092,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,848	△47,275
評価・換算差額等合計	△10,848	△47,275
純資産合計	40,657,612	38,045,522
負債純資産合計	55,204,921	48,238,579

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	26,670,406	29,298,763
売上原価	13,790,999	14,172,302
売上総利益	12,879,406	15,126,460
販売費及び一般管理費	※ 8,335,341	※ 9,145,567
営業利益	4,544,064	5,980,893
営業外収益		
受取利息	34,255	12,099
受取配当金	2,494	2,854
有価証券売却益	165	—
有価証券償還益	7,267	—
技術指導料	49,285	48,097
その他	85,268	89,741
営業外収益合計	178,737	152,792
営業外費用		
支払利息	7,069	23,519
有価証券償還損	—	14,955
有価証券評価損	112,065	137,650
スワップ評価損	166,009	408,924
その他	26,919	21,412
営業外費用合計	312,064	606,463
経常利益	4,410,738	5,527,222
特別利益		
貸倒引当金戻入額	59,068	5,380
退職給付制度終了益	231,796	—
特別利益合計	290,864	5,380
特別損失		
固定資産処分損	7,232	3,781
たな卸資産評価損	10,135	—
投資有価証券評価損	365,966	68,900
工場閉鎖損失	91,194	—
特別損失合計	474,528	72,681
税金等調整前四半期純利益	4,227,074	5,459,920
法人税等	1,685,964	2,109,410
四半期純利益	2,541,110	3,350,509

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	9,530,321	10,230,071
売上原価	4,914,139	4,882,032
売上総利益	4,616,182	5,348,038
販売費及び一般管理費	* 2,748,994	* 3,135,389
営業利益	1,867,188	2,212,649
営業外収益		
受取利息	562	3,177
受取配当金	1,029	882
有価証券評価益	2,686	59,632
技術指導料	18,275	16,969
スワップ評価益	—	36,935
その他	12,628	26,953
営業外収益合計	35,183	144,551
営業外費用		
支払利息	2,184	14,292
有価証券償還損	—	13,765
スワップ評価損	308,679	—
その他	894	1,815
営業外費用合計	311,759	29,872
経常利益	1,590,612	2,327,328
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	23,581
特別利益合計	—	23,581
特別損失		
固定資産処分損	1,110	1,011
投資有価証券評価損	164,226	48,351
特別損失合計	165,336	49,362
税金等調整前四半期純利益	1,425,275	2,301,547
法人税等	551,941	861,491
四半期純利益	873,334	1,440,055

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,227,074	5,459,920
減価償却費	1,379,024	1,283,155
工場閉鎖損失	25,366	—
のれん償却額	10,588	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△65,502	222,087
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△96,104	182,958
固定資産処分損益 (△は益)	7,232	3,781
たな卸資産評価損	10,135	—
受取利息及び受取配当金	△36,750	△14,953
支払利息	7,069	23,519
スワップ評価損益 (△は益)	166,009	408,924
有価証券評価損益 (△は益)	478,031	206,550
有価証券売却損益 (△は益)	△165	—
有価証券償還損益 (△は益)	△7,267	14,955
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,573,402	△1,135,482
たな卸資産の増減額 (△は増加)	63,129	△854,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	△809,807	874,270
その他	△442,286	144,074
小計	3,342,375	6,819,691
利息及び配当金の受取額	62,695	23,953
利息の支払額	△7,069	△30,300
法人税等の支払額	△1,998,586	△2,874,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,399,414	3,939,053
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△6,000,000
有形固定資産の取得による支出	△2,189,658	△2,037,323
有形固定資産の売却による収入	100	—
投資有価証券の取得による支出	△50,000	—
投資有価証券の売却による収入	404,152	97,410
貸付金の回収による収入	18,000	30,000
その他	△59,565	5,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,876,971	△7,904,534
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	4,000,000
配当金の支払額	△769,123	△775,512
自己株式の取得による支出	△858	△1,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△769,982	3,223,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,909	11,645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,217,629	△730,548
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,124	3,425,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 953,494	※ 2,694,837

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
税金費用の計算	法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)				
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、15,339,140千円 であります。</p> <p>※2 四半期連結会計期間末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理につ いては、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日 でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理し ております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金 額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>受取手形</td> <td style="text-align: right;">41,478千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td style="text-align: right;">2,897千円</td> </tr> </table>	受取手形	41,478千円	支払手形	2,897千円	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、14,208,235千円 であります。</p>
受取手形	41,478千円				
支払手形	2,897千円				

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)																												
<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>給料及び手当</td> <td style="text-align: right;">3,386,508千円</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">597,448</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">43,650</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">240,119</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">8,062</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">1,858</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">1,576,142</td> </tr> </table>	給料及び手当	3,386,508千円	広告宣伝費	597,448	役員賞与引当金繰入額	43,650	退職給付費用	240,119	役員退職慰労引当金繰入額	8,062	貸倒引当金繰入額	1,858	研究開発費	1,576,142	<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>給料及び手当</td> <td style="text-align: right;">3,523,157千円</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">581,786</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">43,650</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">279,008</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">8,062</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">227,467</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">1,829,369</td> </tr> </table>	給料及び手当	3,523,157千円	広告宣伝費	581,786	役員賞与引当金繰入額	43,650	退職給付費用	279,008	役員退職慰労引当金繰入額	8,062	貸倒引当金繰入額	227,467	研究開発費	1,829,369
給料及び手当	3,386,508千円																												
広告宣伝費	597,448																												
役員賞与引当金繰入額	43,650																												
退職給付費用	240,119																												
役員退職慰労引当金繰入額	8,062																												
貸倒引当金繰入額	1,858																												
研究開発費	1,576,142																												
給料及び手当	3,523,157千円																												
広告宣伝費	581,786																												
役員賞与引当金繰入額	43,650																												
退職給付費用	279,008																												
役員退職慰労引当金繰入額	8,062																												
貸倒引当金繰入額	227,467																												
研究開発費	1,829,369																												

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)																										
<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>給料及び手当</td> <td style="text-align: right;">1,114,041千円</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">135,852</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">14,550</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">84,072</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">2,687</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">39,230</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">531,675</td> </tr> </table>	給料及び手当	1,114,041千円	広告宣伝費	135,852	役員賞与引当金繰入額	14,550	退職給付費用	84,072	役員退職慰労引当金繰入額	2,687	貸倒引当金繰入額	39,230	研究開発費	531,675	<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>給料及び手当</td> <td style="text-align: right;">1,190,449千円</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">168,095</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">14,550</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">95,938</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">2,687</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">731,868</td> </tr> </table>	給料及び手当	1,190,449千円	広告宣伝費	168,095	役員賞与引当金繰入額	14,550	退職給付費用	95,938	役員退職慰労引当金繰入額	2,687	研究開発費	731,868
給料及び手当	1,114,041千円																										
広告宣伝費	135,852																										
役員賞与引当金繰入額	14,550																										
退職給付費用	84,072																										
役員退職慰労引当金繰入額	2,687																										
貸倒引当金繰入額	39,230																										
研究開発費	531,675																										
給料及び手当	1,190,449千円																										
広告宣伝費	168,095																										
役員賞与引当金繰入額	14,550																										
退職給付費用	95,938																										
役員退職慰労引当金繰入額	2,687																										
研究開発費	731,868																										

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (千円)	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (千円)
現金及び預金勘定 940,998	現金及び預金勘定 8,694,837
有価証券勘定 12,495	預入期間が3か月を超える定期預金 $\Delta 6,000,000$
現金及び現金同等物 <u>953,494</u>	現金及び現金同等物 <u>2,694,837</u>

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

- 発行済株式の種類及び総数
普通株式 17,172,000株
- 自己株式の種類及び株式数
普通株式 4,837株
- 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
- 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月24日 定時株主総会	普通株式	386,267	22.5	平成21年3月31日	平成21年6月25日	利益剰余金
平成21年11月9日 取締役会	普通株式	386,264	22.5	平成21年9月30日	平成21年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

在外子会社、在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 2,368円34銭	1株当たり純資産額 2,216円14銭

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 148円02銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 195円17銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期純利益(千円)	2,541,110	3,350,509
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	2,541,110	3,350,509
期中平均株式数(株)	17,167,548	17,167,306

前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 50円87銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 83円88銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
四半期純利益(千円)	873,334	1,440,055
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	873,334	1,440,055
期中平均株式数(株)	17,167,484	17,167,236

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成21年11月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・386,264千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・22円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成21年12月1日

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月13日

東和薬品株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野田 弘一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 永原 新三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東和薬品株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的な手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東和薬品株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月10日

東和薬品株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 永原 新三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡部 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東和薬品株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的な手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東和薬品株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。